



広報

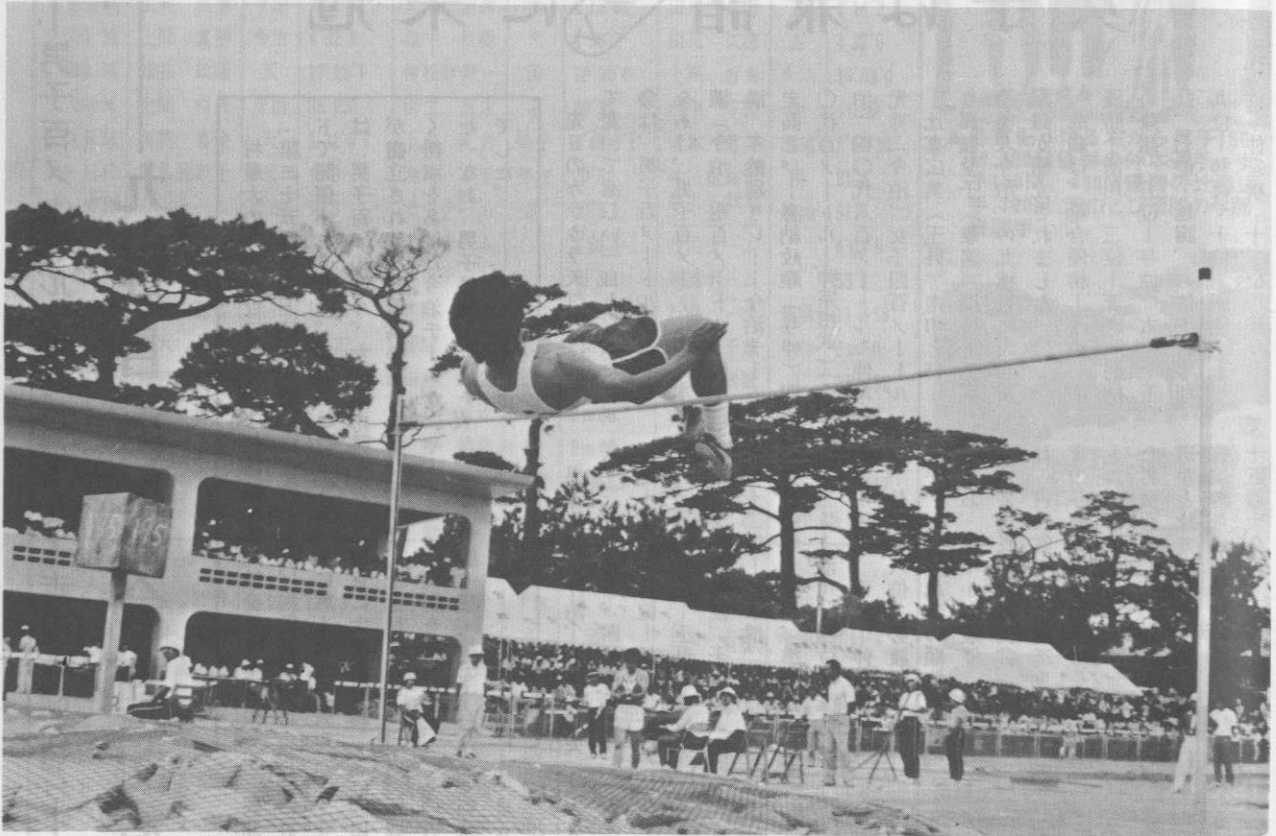
なきじん

No.59

1980 10 月

村章

(毎月1日発行)



▲ 9つの大会新記録を樹立した村陸上競技大会

恒例の村陸上競技大会は、9月7日行なわれた。9つの大会新記録を樹立する中で、今泊チームが総合優勝を飾った(写真=1m95cmの大会新記録を軽々とクリアする与・仲の喜納選手——男子走高とび)

今帰仁村の人口(昭和55年8月31日現在)

人口 10,165人(-2)

()内は前月比



女

5,129人(-17)



男

5,036人(+15)



世帯数

2,735戸(-4)

- 二・三 今泊チームが総合・男子優勝
- 四 多くの学校わたしの学校
- 五 旧道、曲輪が明らかに
- 六・七 楽しかった第一回村まつり
- 八 村畜産共進会
- 九 村民コーナー私の一言
- 十 村社協が社会福祉法人に
- 十一 私たちと国民年金

目

次

編集発行：今帰仁村役場企画室

〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話 098056-2101

印刷：沖縄高速印刷株式会社

南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

種目別順位と記録

Table with columns for rank (順位), item (項目), name (氏名), team (チーム), and record (記録). It lists results for various sports like 100M, 200M, 400M, 800M, 1500M, 5000M, 10000M, 20KM, 110MH, 400MR, 1600MR, and various relays, categorized by age groups (30-40代, 40-50代, 50代以上) and gender (男子, 女子).

●は大会新記録

今泊(チーム)が総合・男子優勝

第35回村陸上競技大会

女子は兼諸(チーム)に栄冠

男子百メートル・走高とび・女子走巾とびなど 九種目に大会新記録

村最大のスポーツ行事である村体協(内間敏会長)主催の「第三十五回村陸上競技大会」は、九月七日、村営グラウンドで開催されました。絶好のコンディションに恵まれた大会は、男子百メートル、女子走巾跳を含む九種目に大会新記録が樹立されるなど最高の盛りあがりを見せ、全種目にむらなく得点をあげた今泊チームが二年ぶりに総合優勝を飾りました。なお、男子優勝は今泊チーム、女子優勝は兼諸チームでした。

先日のカラカラ天気とは違って涼しい一日となった大会は、男子百メートル予選で幕をあげ、男子百メートル仲本満(今泊)四百メートル仲本満、年齢別リレー今泊チーム走高とび喜納政順(与仲)四〇代百メートル仲宗根武(今泊)四〇代八百メートル仲本光秀(今泊)女子四百メートル比嘉広美(玉呉)走巾とび与那嶺愛子(兼諸)槍投玉城明美(今泊)の九種目に大会新記録が樹立されました。成績は、総合優勝今泊、準優勝今泊、三位今泊、四位兼諸、五位与仲、六位玉呉、七位越謝、八位古宇利、九位勢渡、十位両運、十一位仲宗根、十二位崎平。

男子優勝は今泊、準優勝は天底、三位湧川、四位与仲、五位兼諸、六位越謝、七位古宇利、八位玉呉、九位両運、十位勢渡、十一位崎平、十二位仲宗根。女子優勝は兼諸、準優勝は今泊、三位湧川、四位玉呉、五位天底、六位仲宗根、七位与仲、八位勢渡、九位崎平、十位越謝の順位でした。なお、今年から最優秀選手賞として村長賞と議長賞が設けられ、村長賞の仲本満選手、議長賞の与那嶺愛子選手にそれぞれトロフィーが贈られました。また男女百メートル優勝者の仲本選手と比嘉広美選手に山城金長賞が贈られました。さらに、三十五回大会にちなみ、戦後の復

興期から今日まで村の体育振興に貢献した十人(仲原武一、西平守武、玉城信男、池原善治、久田友清、与那嶺猛、大城藤夫、新城堅一、嶺井政義、上間悟)の方々に、内間村体協長より表彰状と記念品の贈呈が行なわれました。ところで、十月五日の国頭郡大会に村代表として次の三十七人の選手が出場します。選手強化をめざす村チームは、多くの入賞者が出るものと期待されています。出場選手に皆さんの力強いご声援を。

男子一仲本満、謝花篤、運天英彦、新城満、島袋宗弘、大城清彦、嶺井政隆、上間哲男、浜里良太、謝花喜美、山城哲也、喜納政順、仲村渠智、嘉陽宗隆、玉城清朝、大城正秀、大城秀輝、石川博利、喜屋武清、西平守輝、仲宗根武一、山城義則、仲本光秀、田港朝和、新城勝、与那嶺勝、島袋輝也、石嶺一也。女子一比嘉広美、与那嶺愛子、仲宗根清美、上間美和子、与那嶺悦子、大城洋子、玉城明美、内間み子、嘉陽み子



▲各賞をうける右から男子100M、400M優勝の仲本選手、女子100M、400M優勝の比嘉選手、200M、走巾とび優勝の与那嶺選手



▲走り巾とび優勝の運天選手



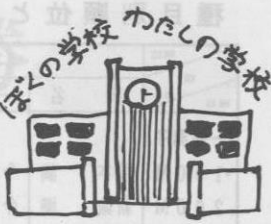
▲1万M優勝の上間選手



▲開会式で選手宣誓を行う湧川の選手



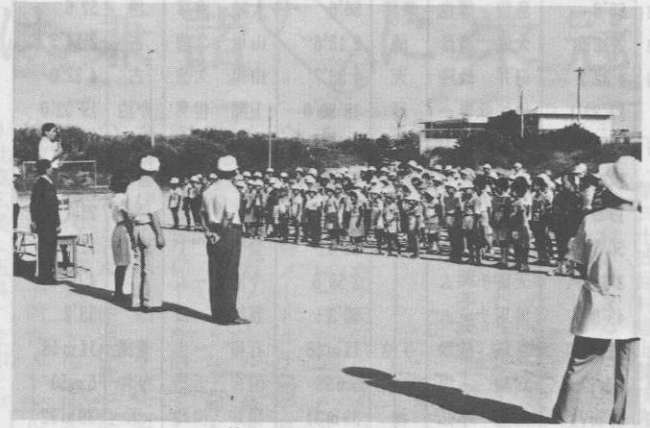
▲総合優勝ならびに男子優勝の今泊チーム(上)、女子優勝の兼諸チーム(下)



あいさつ運動を四年も続ける

兼次小学校

児童が自主的に活動



▲兼次小学校の朝礼風景

「お早うございます」というさわやかな子供たちの声が耳にこちよく入ってくる。兼次小学校の校内をくぐった時である。兼次小では、明るく誠実な子——を育成するために「あいさつ運動」を四年間も続けているという。これは、言葉をかかず時から教育の第一歩が始まるということから、学校・家庭・地域一体となつてとりくんでおり、いろんな面で成果をあげつつある。新築雄校長は「朝の活動としての清掃や、花園の手入れ、周辺の整備など、自分たちでできるものは自分たちでやっております、これまで父兄が作業に出たことは少い」と、児童の自主性を喜んでいる。

兼次小学校の年間計画の中に五・六年生を対象にした宿泊研修がある。これは、集団活動を通じ学習や登山、レクリエーションを学び、上級生のほこりと自覚をもつて下級生をリードしていこうというものだ。

ところで、兼次小学校には他の学校にはないものが二つある。三味線クラブと学校だよりがそれ。三味線クラブは、クラブ員十四名で、島袋政春先生の指導で毎週一日練習を続け、大人顔まけのあざやかなバチさばきを

ブラジルから温いおくり物

ここに兼次小にまつわる逸話がある。それは、字諸志出身で在伯の島袋吉成さんが、二年前に新聞で「水死しかかった老人を助けた三人の生徒」の記事を読んだことに始まる。

島袋さんは、事件が出身地の諸志でしかも三人が校区の生徒だということに感激し、今年の八月三十日来沖する際、重いトロフィーをブラジルから持参し九月二十一日の朝礼で三人(内間孝君、金城重治君、現在中二互那覇剛君)に手渡した。また「良い行いは地球の裏側のブラ

ジルでもわかる。これからも良い行いをしてほしい」と、全児童にノートのプレゼントをした。島袋さんは、村議の島袋輝志雄さんのお父さんで、昭和五年、奥さんのマツさん、兄さんの三人で渡伯。現在、ブラジルで果樹や野菜園を経営している。子供十三人(在伯十二人)の大家族で、大みそかには孫を含め三十二人の家族が集うという。



▲子供たちへの善行に感激しノートのトロフィーを贈った島袋さん(写真中央)

兼次小学校生徒数の移りかわり

年 度	生 徒 数
昭和47年度	365人
48	326人
49	314人
50	298人
51	275人
52	253人
53	243人
54	248人
55	230人

校 長	新城 繁 雄
教 頭	仲宗根 孝 秀
PTA会長	与那嶺 清 治
職員13人	
うち教諭9	事務主事 1
養護教諭1	図書館司書 1
用 務 員 1	

旧道輪が明らかに

今帰仁城跡の発掘で



去る九月九日から進めている「今帰仁城跡」の発掘調査により、志慶真曲輪及び旧道の輪郭がほぼ明らかになりました。以前から知られたことではありませんが、今回の発掘により旧道部分が明確な状態で露呈しました。これまで解ったことは、①道が石敷と石段で造られている②道側に縁石が施設されている、ことなどです。

発掘された道の長さは約五メートルあり、更に現在入口となっている「平郎門」までを含めた長さは百メートル余の距離になります。今回の旧道発掘は「参詣道」に接した部分で終了しました。幸いに、旧道は「参詣道」の下の位置にあり破壊はまぬがれています。これは今後の環境整備を推し進める上で貴重な実証部分になります。旧道発掘により元時代(十三世紀)から明時代(十四世紀)に至るいろいろな陶磁器類が出土したことで、史実関係がより詳しく

実証化されることでしよう。また、志慶真曲輪の発掘では住居遺構の一部である柱穴が検出されています。他に、石斧、鉄釘、有文、無文銭、獣骨、陶磁器類が出土し、その当時の

生活、文化がどのようなものであったかの推察ができます。今後日を追って新たな発掘成果が出るものと期待されます。なお、村教育委員会では、村民参加による発掘作業(無料奉

仕)に期待をよせています。発掘に参加したい方は、電話二六四七、二六四五松田までご連絡下さい。

写真：発掘された旧道

○……してもらいたい
○どうしても納得できない
○どうしてよいかわからない
○テキパキやってもらえない
○不親切にされた
など、苦情・相談のある方は気軽に申し出て下さい。

申し出は、那覇市泉崎一十一三、沖縄行政監察事務所相談室、電話(〇九八八)六六一〇一四八か、今帰仁村の行政相談委員の小浜孝子さん(字薄川一八八五、電話二一〇八)まで。

村消防団が 応用操法で優勝

沖繩県並びに財団法人沖繩県消防協会主催による「第七回沖繩県消防操法大会」が、九月十八日北谷町のハンビー飛行場跡で行なわれました。

大会は、消防隊員の技術の向上と消防活動の充実を目的としており、出場から退場までにおける①士気、規律②迅速な行動③確実な操作④消防用機械器具の精通とその愛護⑤隊員の安全について審査対象になります。

ポンプ車操法、小型ポンプ車操法、応用操法の三部門のうちポンプ車操法、応用操法の部に出場した今帰仁村消防団(与那嶺源团长)は、日頃の訓練の成果をいかんなく発揮し、応用操法(仲里生男、松本健司、平良勝一)の部で優勝。ポンプ車操法(与那嶺源、謝花喜保、平安常康、国吉真規、座間味栄享)の部で三位に入賞する活躍をみせました。

行政相談週間
10月12日～18日まで

行政相談週間は「苦情なくして明るい生活」をモットーに毎年十月に行政相談週間を実施していますが、今年「親切・清潔・能率行政をめざして」を標語に、来る十月十二日から十八日までの一週間全国一斉に実施することになりました。

国・県・市町村の仕事について、

楽しかった 第1回

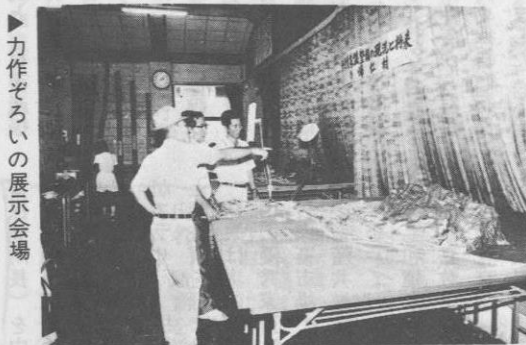
融和と産



▲にぎやかに踊ったダンスの集い



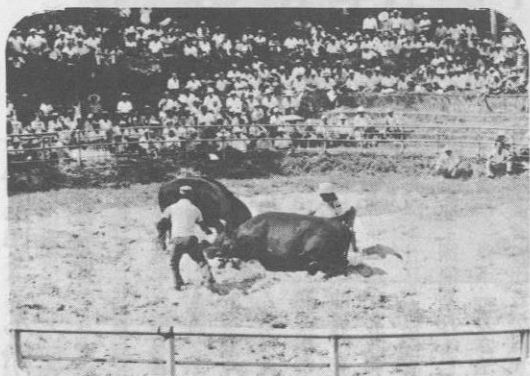
◀子供たちに人気の輪なげ



▶力作ぞろいの展示会場



▶迫力満点の斗牛



▶角力大会入賞者
(左から優勝の喜屋武さん、準優勝の我那覇さん、三位の上里さん)
▲大技が次々決まった角力大会



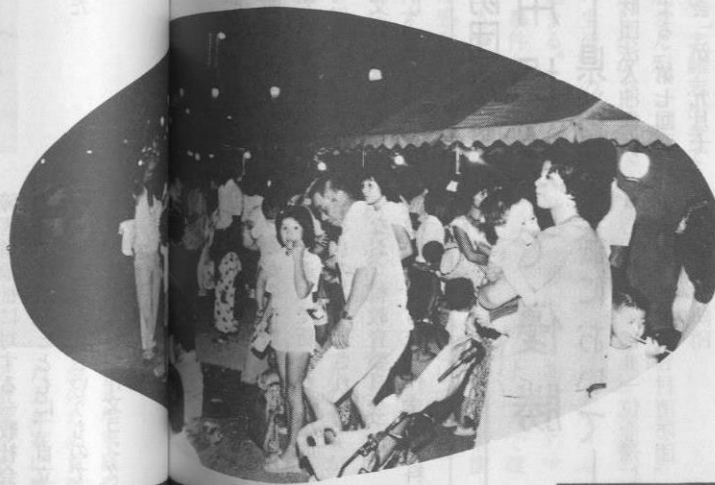
◀祭りも最高潮に達した盆まつり

村まつり

業振興に一役



▲開会式であいさつする松田村長

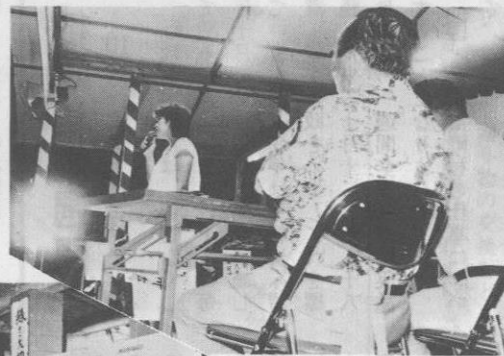


◀祭りを楽しむ人人……

村の現情を広く内外に紹介するとともに、村民の融和と連帯意識を高めようという今帰仁村まつりは、八月三十日、三十一日の両日行なわれ、盛況のうちに幕を閉じた。
初日の一時からは開会式ならびにパレード。今帰仁小学校の八十人の鼓笛隊を先頭に、松田村長、嘉陽議長、座間味商工会長、議員、区長、商工会員、婦人会、役場職員など七百人が役場前から今帰仁給油所までのパレードを行ないました。その後商工会を中心にして約七十台の車が本部半島を一周し、祭りの雰囲気盛りあげました。
その他、斗牛大会、角力大会、盆まつり、ダンスの集い、カラオケ大会など盛りだくさんの行事が行なわれ、一万余の村民の祭りにふさわしいにぎわいをみせました。
なお、村では次年度からも毎年村まつりを開催することになっていますが、村民の皆さんの積極的な参加とご意見でよりすばらしい祭りにしていきたいものです。



▲エイサーで祭りを盛りあげた今泊青年会



▲にぎわったカラオケ大会
◀多くの方の作品が展示された写真展





私にとっての農業

字渡喜仁五五

謝花 喜美
(二十一歳)

現在、農業は種々の問題をかかえ、その経営はいろいろな点から困難になりつつあると思う。私が何故農業を始め、農業に魅力を感じているかを少しのべてみることにしたい。

私は小さい頃から父の手伝いをしながら農業の楽しさ苦しさを知った。そして、汗を流し一つ一つ考えながら働く農業を父から教わった。私が父と同じ農業を志したのは、自分なりに色々考え、自分に一番向いている仕事だと思ったからである。

今、私は父とは独立した形で仕事をしているが、独立して初めて思うことは、仕事の段取りはちゃんとして仕事をするということである。そして仕事は一つづつ片づけてから他の仕事に移るのが一番能率的だということがこの頃わかってきた。

私は学校を卒業してすぐ農業を始めた。そして、十九歳の時葉タバコの研修で本土へ行った。その時に私は色々な人に出会い

話を聞いた。「外の人に使われる苦勞というのは実際に自分自身で味わってみたいとわからない」という人がいた。私自身他の人に使われたことがないので、他の仕事が苦しいのか楽しいのかよくわからない。しかし、それは他の仕事をしている人が農業についてわからないのと一緒ではないかと思う。

自分にとって農業とは何か？というのを考える時「自分の農業は孤立しているのではないか」と悩むことがある。ただ、自分なりに思うことは「農業を仕事にしている人は他の人よりも欲が深いのではないだろうか」それは、働けば働くほど農業は自分に還元されるということである。苦しければ苦しいほど、「頑張れば後で楽になれるのだ」と考える、自然に農業に対する意欲がわいてくる。

私が考えることは、他のいろいろな仕事をしている人と、いろいろな話をしながら知識を深め、

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場企画室広報係までお寄せ下さい。なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。※あて先 今帰仁村字仲宗根二一九村役場企画室広報係 TEL—二一〇一—

意欲をみせる農家

例年以上に好評だった 村畜産共進会



▲種豚部部門の表彰式

優良家畜の育成と、村畜産振興のための「昭和五十五年度今帰仁村畜産共進会」が、九月十二日村畜産市場で行なわれまし

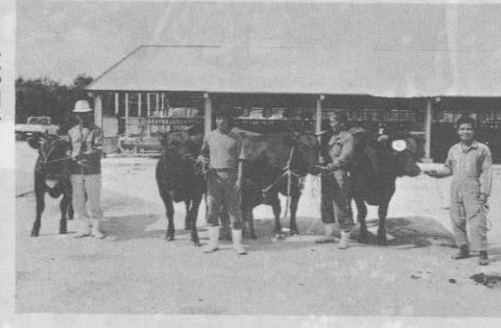
肉用牛、子豚セリ市の常設による価格の安定とともに、耕畜結合にみられる畜産の見直しによって、このところ村の畜産は年々盛んになる傾向にあります。畜産共進会は、これまで村産業まつりの一環として行なわれていたものですが、今年から村まつりに移行したため独自に行なわれるようになりました。

当日は午前九時半から家畜の搬入が始まり、午前十時から審査委員長の玉城賢三氏（北部家

畜保健所長）を中心に厳正な審査が行なわれました。各畜主が一年間愛情を込めて育てただけあって、例年以上に優秀な家畜がズラリ。「甲乙つけがたい」と審査員を悩ませました。

結果は次のとおりですが、その中の優秀家畜は十月十四日(火)に村畜産市場で行なわれる北部地区畜産共進会に出品されることになっていきます。

- 優等 黒毛和種未経産
- 優等 嘉数安喜(今泊) 一等一席
- 謝花喜幸(渡喜仁) 一等二席
- 喜友名盛仁(仲尾次) 一等三席
- 湧川登(勢理客)
- 黒毛和種経産
- 優等 金城光吉(今泊) 一等一席



▶各部門で 優等に輝いた モーくん

- 優等 仲宗根久善(謝名) 一等二席
- 渡久山祐弘(運天) 一等三席
- 金城寛一(仲宗根)
- 去勢牛
- 優等 上里光秀(崎山) 一等一席
- 山城昌真(兼次) 一等二席
- 仲宗根久善(謝名)
- 子牛
- 優等 大城喜英(平敷) 一等一席
- 諸喜田清幸(玉城) 一等二席
- 謝花喜幸(渡喜仁) 一等二席
- 糸洲光男(玉城)
- 種豚未経産
- 優等 仲村繁(勢理客) 一等一席
- 西島さんが竹細工で銅賞
- 伊佐さんが体験発表
- 身障者福祉大会で
- 優等 富平乗候(渡喜仁) 一等一席
- 大城幸一(上運天) 一等二席
- 仲村繁(勢理客)
- 種豚経産
- 優等 田港朝明(湧川) 一等一席
- 具志忠吉(渡喜仁) 一等二席
- 大城健次(仲宗根)
- 種豚ハンブシャー
- 優等 仲本達美(崎山) 一等一席
- 大城健次(仲宗根) 一等二席
- 我那覇隆秀(仲宗根)
- 優等 富平乗候(渡喜仁) 一等一席
- 大城幸一(上運天) 一等二席
- 仲村繁(勢理客)
- 種豚経産
- 優等 田港朝明(湧川) 一等一席
- 具志忠吉(渡喜仁) 一等二席
- 大城健次(仲宗根)
- 種豚ハンブシャー
- 優等 仲本達美(崎山) 一等一席
- 大城健次(仲宗根) 一等二席
- 我那覇隆秀(仲宗根)

国際障害者年を活力ある福祉確立の年にしよう！

障害を克服しよう！を大会スローガンに、第十八回沖縄県身体障害者福祉大会(沖縄県身体障害者福祉協会、沖縄盲人福祉会主催)が九月二十五日、那覇市の労働福祉会館で開催されました。大会は、県下一万六千名余の身体障害者の代表が一堂に会し、障害者福祉に対する一般社会の理解を深めるとともに、自立心の高揚を図ろうというもので、自立更生者表彰や作文コンク

ル表彰、体験発表、福祉展入賞者表彰、宣言、決議がなされました。

席上、宇与那嶺の西島健徳さんが身障者作品展において竹細工で銅賞を獲得し、沖縄県身体障害者福祉協会会長より表彰されました。また、宇湧川七三〇一の伊佐真昭さんの体験発表も行なわれました。なお、伊佐さんの発表は次号で紹介したいと思います。

敬老会を開催

おじいちゃん 長生きしてね
おばあちゃん



永年家庭や社会のため貢献したお年寄に感謝のための恒例の「敬老会」は、九月十五日午後二時から村内の七十五歳以上の方五百人をお招きして行なわれました。

式典では、主催者を代表しての村長あいさつ、嘉陽村議長、吉田県議、伊芸北部福祉事務所長、与那嶺北部老連会長の来賓あいさつの後、古宇利小学校六年生の仲宗根由季

さんが「おじいさんおばあさん達は、悲しいこと苦しいこともたくさんあったと思いますが、これまでがまん強くがんばってこられました。このすばらしい体験を私達にも教え導いて下さい。私達はこの教えをしっかり受けつぎ、もっと住みよい社会をつくるよう努力します」と感謝の言葉を述べました。式典の後、宇連天出身で丸金交通社長の運天敏信さんを中心とする丸金交通芸術クラブによる余興に移り、舞踊や民謡などの芸でお年寄を喜ばせました。また、同じ、敬老の日の当日今年新しく百歳になられた上間タマさん(今泊)と、村内最

福祉の充実をめざして

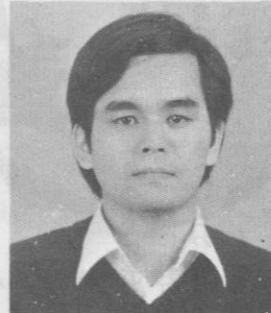
村社協が 社会福祉法人に

地域福祉サービスの展開が求められている昨今、村ではより以上の福祉の充実をめざして村社会福祉協議会の法人化を進めていきましたが、九月六日付で正式に厚生大臣から認可され、社会福祉法人としてスタートすることになりました。

理事―玉城助一(民協)
〇〇―薄川善男(老人会)
〇〇―上間和子(婦人会)
〇〇―仲松弥貞(区長会長)
〇〇―嘉陽宗哲(議会議長)
〇〇―大嶺武治(農協長)
〇〇―事務局長―金城福成(住民課長)

また、社協の職員として字湧川二〇七の謝花恒明さんが採用されました。

村社協の活動に村民の皆さんのご協力をお願いします。



- 〇 謝花恒明さん
- 〇 今帰仁村字湧川二〇七番地
- 〇 昭和二十八年六月生(二七歳)
- 〇 独身
- 〇 趣味―テニス

私たちと国民年金 全国で2,780万人が加入

国民年金には、いま全国で二、七八〇万人が加入し、五六九万人が年金を受けています。国民年金に加入する人は、農林漁業、商工業やサービス業などの自営業者、五人未満の事業所の従業員と、それらの家族です。

これらの人々は、厚生年金保険や共済組合などの被用者年金制度に加入していないときは、二十歳から六十歳までの間、必ず加入しなければなりません。また、サラリーマンの奥さんなどは、希望して任意に加入することができます。

国民年金には、老齢年金、通算老齢年金、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の七種類があります。

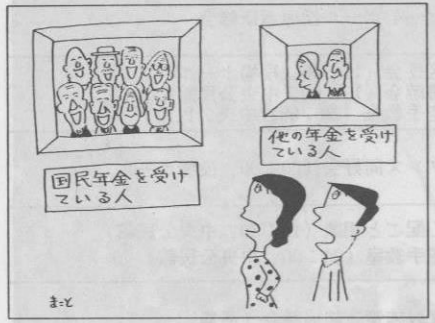
これらの年金は物価に応じて改正する仕組みになっていますので、将来目減りすることがありません。

国民年金の保険料は、定額で一カ月三七七〇円です。保険料を納めることが困難な方には、免除の制度もあります。

また現在、国民年金に加入している方が会社等に就職し厚生年金に加入した場合に、国民年金の資格喪失の手続きをせずに国民年金と厚生年金両方の保険料を納めている方がおります。この場合手続きをすれば国民年金の保険料は還付されますが、国民年金加入者が厚生年金に加入したらずに、年金手帳と印鑑をもって手続きをするようにして下さい。

国民年金はみなさんのための制度です。みなさんの力でさらに大きく育てましょう。

老令福祉年金、障害福祉年金、母子福祉年金を受給している方はおられません。今月の中旬に年金証書の切り替えをしますので、



住民検診始まる

村では、毎年病気の早期発見、早期治療を行い、村民の健康維持増進をはかる目的で健康診断を実施しています。今年も下記日程により、集団検診を行うことになりました。この機会にひとりのこらず検診を受けられ、ひとりひとりの健康を確かめましょう。(対象者は、学生を除き村在住の満15才以上の全住民) 詳しくは、役場衛生係及保健婦までお問い合わせ下さい。

昭和55年度結核集団検診日程表

検診日	曜日	場 所	対 象	部 落	時 間	備 考
10月6日	月	今泊公民館	今泊		9:30~16:00	胃検診
7日	火	兼次公民館	兼次		9:30~12:00 13:00~16:00	
8日	水	与那嶺公民館	与那嶺	那尾	9:30~12:00 13:00~16:00	胃検診
9日	木	崎山公民館	崎山	敷名	9:30~12:00 13:00~16:00	
13日	月	謝越公民館	謝越	名地	9:30~12:00 13:00~16:00	
14日	火	役場公民館	役場	職員	9:30~12:00 13:00~16:00	胃検診
15日	水	玉宗公民館	玉宗	城山	9:30~12:00 13:00~16:00	
16日	木	湧川公民館	湧川		9:30~16:00	
17日	金	天底公民館	天底	勢理客	9:30~16:00	胃検診
20日	月	渡喜仁公民館	渡喜仁	喜運	9:30~12:00 13:00~16:00	
21日	火	古宇利公民館	古宇利		10:30~14:30	
22日	水	役場	全部	未受診者(もれ)	9:30~16:00	胃検診

10月は郵便貯金月間

郵便貯金は、皆さまの日常の経済生活の安定と財産づくりのお手伝いをするともに、お預りした大切なお金は資金運用部を通じて国の財政投融資の主要な原資として、県はもとより各市町村、沖縄振興開発金融公庫及び公団等に融資され、住宅の建設、公害の防止、生活環境の整備、中小企業や農林漁業の近代化、道路の建設及び文教施設の拡充などに利用されています。

昭和五十四年度末の資金運用部資金残高約八五兆円に占める郵便貯金の割合は約六〇%に達しています。沖縄県内においても、県及び各市町村に約七二億円、個人中小企業・農林漁業関係者等に融資している沖縄振興開発金融公庫については約四三・三億円と大きな額となっています。また、今帰仁村でも六月三〇日現在一億四千万円の融資を受けており、この資金によってできた施設として学校や保育所などがあります。

郵便局では、このような郵便貯金の働きを広く県民の皆さまにお知らせし、郵便貯金に対するご理解とご協力をお願いするため、資金運用面と関係の深い沖縄県、沖縄総合事務局など各種の機関の協力を得て、「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」(十月中)を実施することとしています。なおこの期間中の十月二十五日から三十一日までを「郵便貯金週間」として、郵便局でいろいろな行事を実施する予定です。



30周年記念大会を開催

村婦人会(小浜孝子会長)の結成三十周年を祝う記念大会が九月十八日、十九日の両日行なわれました。まず、一八日午後四時からの村内パレードに続き、十九日午後一時三十分からの大会には、村内三百余人の婦人会員が参加し式典が行なわれました。

式典では、婦連会歌斉唱の後、村婦人会は、「戦後間もない頃結成された村婦人会もさまざまな体験をへてこまに成長することができました。急変する社会状況の中で婦人の果たす役割は大きく、これからも認識を深め住みよい地域づくりに努力しましょう」とあいさつをのべました。また来賓の松田村長は「教育のかんよう、青少年の育成、母子・児童福祉、PTAの活動、消費生活運動など、多面にわたる婦人会の活動に敬意を表するとともに、今後とも婦人の地位向上と村の発展のために皆さんの活躍を期待します」と激励の言葉をのべました。次いで経過報告や大会宣言が行なわれ、結成以来婦人会発展に貢献した歴代会長の上間カズさん、田港トシさん、上間和子さん、平良カエ子さんに感謝状が贈られました。

村婦人会は、戦後間もない一九五〇年八月に結成、上間カズ初代会長で発足しました。最初の活動としては、重箱廃止運動の展開。粗食しながら、少ない配給物資も昔ながらの重箱交換に使われ、家族の健康をそこなうことにもなりかねない状態の時、部落懇談会などで健康の大切さを話しあい重箱廃止をなしたといえます。さらに、火葬場設置や保育所設置運動を積極的に展開するなど、これまで三十年にわたり地域づくりや明るい家庭づくりに婦人の果たした貢献は大きなものがあります。なお、婦人会では三十周年記念事業として沿革誌を作成中とのことです。

写真―多数の会員でにぎわった記念大会(役場ホール)

ご寄附

宇根良光さん(那覇在)良善さん(宇仲根二五五―三)の兄弟より、母親マカトさんの九十七歳のお祝いに代えて、十萬円の寄附が村社会福祉協議会へありました。ご芳志ありがとうございました。



なきじん版

10月1日～11月1日

村民カレンダー



10/1 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	17 金	○空手教室 (20:00、中央公民館)
2 木		18 土	○健康相談 (8:30～12:00、中央公民館)
3 金	○三歳児健診 (13:00、役場ホール) ○沖縄県社会教育研究大会 (南風原町) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	19 日	○ゲートボール指導者研修会
4 土	○運天区婦人会老人クラブ料理講習会 (10:00、中央公民館)	20 月	○区長会 (14:00、役場ホール) ○書游会 (19:00、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)
5 日	○湧川小中学校、古字利小中学校運動会 ○国頭郡陸上競技大会 (9:00、名護市営陸上競技場)	21 火	○ダンス同好会 (20:00、役場ホール)
6 月	○区長会 (14:00、役場ホール) ○高齢者団体レク指導者研修会 (北部会館) ○空手教室 (20:00、中央公民館) ○書游会 (19:00、中央公民館)	22 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)
7 火	○ダンス同好会 (20:00、中央公民館)	23 木	○文教施策連絡協議会 (那覇)
8 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	24 金	○空手教室 (20:00、中央公民館)
9 木		25 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室)
10 金	○体育の日 ○兼次小学校運動会 ○空手教室 (20:00、中央公民館)	26 日	○子豚セリ市 (12:00、家畜セリ市場)
11 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) ○人権相談 (10:30、中央公民館)	27 月	○1才半健診 (13:00、役場ホール) ○書游会 (19:00、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)
12 日		28 火	○乳幼児学級 (14:00、中央公民館) ○ダンス同好会 (20:00、中央公民館)
13 月	○書游会 (19:00、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	29 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)
14 火	○北部地区畜産共進会 (10:00、村家畜市場) ○ダンス同好会 (20:00、中央公民館)	30 木	○北部地区公民館連絡協議会 (10:00、宜野座村)
15 水	○中央高齢者教室移動研修 (13:00、勤労者いこいの村、16日まで) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	31 金	○空手教室 (20:00、中央公民館)
16 木	○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場) ○中央婦人学級 (14:00、中央公民館)	11/1 土	

募金。皆さんの温かいご協力を。先月から始まっている今帰仁城跡の発掘で、旧道や住居遺構が発見。発掘作業もいよいよ本格的な段階に入り、刻々と歴史の解明がなされます。なお、この発掘作業に参加したい方は村教育委員会までご連絡を——と担当者では呼びかけています。

■兼次小学校児童の善行に感激し、トロフィーとノートのプレゼントをされた諸志出身の島袋さん。はるばるブラジルから持ってきたズッシリと重いプロンズ像に、故郷をおもっ心意気が感じられます。

編集後記



■残暑きびしい沖縄でも、朝夕はめっきりしのぎやすくなりました。なにげなく触れた水の冷たさに、しみじみと秋の気配を感じる今日この頃です。

■村社会福祉協議会が社会福祉法人としてスタートし、より以上の福祉の充実が期待される所。法人移行の最初の事業は